

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大手前短期大学
設置者名	学校法人大手前学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
ライフデザイン 総合学科		夜・通信			24	24	7	
歯科衛生学科		夜・通信		—	11	11	10	
(備考) 歯科衛生学科は、令和2年4月開設の為、設置計画に基づいて記載している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>大手前短期大学ホームページにて公表する。 https://college.otemae.ac.jp/about/disclosure/support/ https://college.otemae.ac.jp/about/disclosure/files/2021_tandai_jitsumu.pdf</p>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大手前短期大学
設置者名	学校法人大手前学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大手前学園ホームページ内「学園データ→情報公開」にて公表する。 https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2019. 4. 1 ~ 2023. 3. 31	法務
非常勤	企業代表取締役社長	2021. 4. 1 ~ 2025. 3. 31	地域連携
(備考) 他2名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大手前短期大学
設置者名	学校法人大手前学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>																									
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><u>授業計画書の作成・公表過程</u></p> <p>前年度12月より、カリキュラム・ポリシーに基づき以下の事項を漏れなく記載できるよう教員に依頼している。シラバス管理専門部会(教員・職員協働部会)においてチェックを行い必要があれば修正依頼を行っている。学生には履修登録開始前の3月下旬にWEB公表を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業形態(講義、演習、実技、実習の別及びオムニバス、集中の別) ・授業のねらい(授業の目標など) ・授業時間外学習(時間外学習の内容) ・授業計画(第1回～15回まで各授業回ごとに、授業の主題と内容および予習・復習を踏まえ得られる成果。予習・復習の具体的な内容及びそれに必要な時間) ・授業の到達点・学習成果(授業のなかでどこまでできるようになるか等) ・成績評価の対象となる項目・配分(成績評価の方法・基準) ・教科書・参考書(出版社名、著作者名、発行年度等) ・その他(実務経験のある教員による授業科目についてはその旨) など 																									
授業計画書の公表方法	<p>大手前短期大学ホームページにて公表する。</p> <p>http://sb.otemae.ac.jp/syllabus/SyllabusSearch.aspx</p>																								
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>																									
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに明記し学生にあらかじめ示した客観的な「成績評価の対象となる項目・配分」(成績評価の対象となる方法・基準)に基づき、担当教員の主観を排除し、各学生の学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を授与している。</p> <p>なお、本学の成績評価の評語と意味は次のとおりである。</p>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>意味</th> <th>評語</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>特に優秀な成績</td> <td>S</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>優れた成績</td> <td>U</td> <td>不合格</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>一応その科目の要求を満たす成績</td> <td>T</td> <td>単位認定</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>単位が与えられる最低の成績</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>不合格(放棄を含める)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		評語	意味	評語	意味	A	特に優秀な成績	S	合格	B	優れた成績	U	不合格	C	一応その科目の要求を満たす成績	T	単位認定	D	単位が与えられる最低の成績			F	不合格(放棄を含める)		
評語	意味	評語	意味																						
A	特に優秀な成績	S	合格																						
B	優れた成績	U	不合格																						
C	一応その科目の要求を満たす成績	T	単位認定																						
D	単位が与えられる最低の成績																								
F	不合格(放棄を含める)																								
<p>「A・B・C・D・S・T」の評価を得たものに所定の単位が与えられる。</p>																									

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p>	
<p><u>G P A等の客観的な指標の具体的な内容</u></p> <p>本学ではG P A制度を導入している。「A・B・C・D・F」の成績(1単位ごと)にそれぞれ「4・3・2・1・0」のグレードポイントを付与し、その総合計を履修登録単位数の総合計で除して算出している(小数点以下第3位切り捨て)。学期ごとのG P A(学期G P A)及び入学時から通算したG P A(通算G P A)を算出し、成績発表と同時に成績通知書に記載し学生本人に通知している。</p>	
<p><u>客観的な指標の適切な実施状況</u></p> <p>成績発表にあわせて、客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料を公表している。成績の分布を示す資料により、各学生は学科内における成績の分布状況を把握し、自らの相対順位を確認することで、今後の学修活動に活かしている。G P Aが著しく低い場合は、退学が勧告されることがある。</p> <p>また、本学では専任教員(一部、非常勤講師を含む)がクラス担任として、学生一人ひとりを担当し学習に関する指導等を行う制度を設けている。クラス担任は、担当する学生の履修登録、授業への出席状況、成績や就職活動状況などを絶えずモニターし、必要に応じて学生に助言や指導を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大手前短期大学ホームページにて公表する。 https://college.otemae.ac.jp/about/disclosure/support/ https://college.otemae.ac.jp/about/disclosure/files/2020_tandai_seiseki-bunpu.pdf</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【ライフデザイン総合学科】

卒業の認定に関する方針の具体的な内容

本学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ホームページはもとより、『履修ガイド』や『学生募集要項』等において広く内外に公表している。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）では、教育課程において厳正な成績評価を行い、所定の単位を修め、「体系的専門知識・技術」「実践的な基礎ビジネス知識・能力」「社会人としての基礎力」の知識・能力を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与すると定めている。

卒業の認定に関する方針の適切な実施状況

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、卒業要件として次のとおり在学年数及び卒業要件単位数等を学生に対して示している。

1) 在学年数

卒業するには2年以上本学に在学する必要があります。

ただし、長期履修生については3年以上となります。

なお、休学期間は在学年数に算入されません。

2) 卒業要件単位数等

卒業するためには、次の要件をすべて満たした上で、卒業要件の科目の中から62単位以上を修得する必要があります。

①共通教育必修科目「ライフデザイン」（1単位）、「コンピュータ演習」（1単位）、「フォーラムA」（1単位）、「フォーラムB」（1単位）の計4単位修得していること。

②共通教育選択必修科目より次の要件をすべて満たしていること。

「基礎英語」（1単位）または「日本語表現法」（1単位）のどちらか1単位以上修得していること。

③専門教育必修科目「ゼミナールA」（1単位）および、「ゼミナールB」（1単位）の計2単位修得していること。

④専門教育選択必修科目より次の要件をすべて満たしていること。

ア)「キャリアデザイン」（2単位）、「キャリアプランニング」（2単位）および「キャリアベーシック」（2単位）より、2単位以上修得していること。

イ)「Word演習」（2単位）および「Excel演習」（2単位）の4単位、「簿記Ⅰ」（2単位）および「簿記Ⅱ」（2単位）の4単位、「簿記Ⅲ」（2単位）および「簿記Ⅳ」（2単位）の4単位、「販売論」（2単位）および「販売実務」（2単位）の4単位または、「ファイナンシャルプランニングⅠ」（2単位）および「ファイナンシャルプランニングⅡ」（2単位）の4単位、のうちから、1セット4単位以上修得していること。

⑤専門教育科目における4つのコースのいずれか1コースから10単位以上修得していること。

⑥上記の③、④、⑤を含め専門教育科目の中から28単位以上修得していること。

【歯科衛生学科】

卒業の認定に関する方針の具体的な内容

本学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、ホームページはもとより、『履修ガイド』や『学生募集要項』等において広く内外に公表している。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）では、教育課程において厳正な成績評価を行い、所定の単位を修め、「歯科疾患の予防と口腔保健の向上に貢献できる能力をもっている」「高齢化社会到来に伴い、求められる歯科・口腔保健のニーズに対応できる能力を持ち、医療・保健・福祉等の医療関連職種と連携し、協力・協働関係が構築できる」「歯科衛生に関する知識と高度な技術の習得と、多様な人間関係に必要なコミュニケーション能力をもっている」「歯科衛生士としての職業倫理観を保持し、自らの責任で行動できる」知識・能力を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与すると定めている。

卒業の認定に関する方針の適切な実施状況

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、卒業要件として次のとおり在学年数及び卒業要件単位数等を学生に対して示している。

1) 在学年数

卒業するには3年以上本学に在学する必要があります。

なお、休学期間は在学年数に算入されません。

2) 卒業要件単位数等

卒業するためには、次の要件をすべて満たした上で、卒業要件の科目の中から106単位以上を修得する必要があります。

- ①「共通教育科目」の必修科目「フォーラムA」（1単位）、「フォーラムB」（1単位）の計2単位修得をしていること。
- ②「共通教育科目」の選択必修科目より4単位以上修得していること。
- ③「専門教育科目」のすべての必修科目より96単位を修得していること。
- ④「専門教育科目」の選択必修科目より4単位以上修得していること。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大手前短期大学ホームページにて公表する。
<https://college.otemae.ac.jp/about/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大手前短期大学
設置者名	学校法人大手前学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人大手前学園ホームページにて公表する。 https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	学校法人大手前学園ホームページにて公表する。 https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
財産目録	学校法人大手前学園ホームページにて公表する。 https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
事業報告書	学校法人大手前学園ホームページにて公表する。 https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html
監事による監査報告(書)	学校法人大手前学園ホームページにて公表する。 https://gakuen.otemae.ac.jp/about/disclosure.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:) 対象年度:)
公表方法:
中長期計画(名称: 大手前学園中長期計画 2020-2025 年度 対象年度: 2020~2025 年度)
公開方法: 大手前短期大学ホームページにて公表する。 https://college.otemae.ac.jp/about/middletermplan/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大手前短期大学ホームページにて公表する。 https://college.otemae.ac.jp/about/accreditation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 一般財団法人 大学・短期大学基準協会ホームページにて公表する。 https://www.jaca.or.jp/service/college/report/r2/ 大手前短期大学ホームページにて公表する。 https://college.otemae.ac.jp/about/accreditation/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ライフデザイン総合学科
教育研究上の目的（公表方法：大手前短期大学ホームページ） （概要）ライフデザイン総合学科は、多様な領域を教育研究の対象とし、現代の社会をよりよく生きるための実務的教養を学修し、なりたい自分になるための人生設計と自律的行動のできる人材を養成することを目的とする。（大手前短期大学学則 第 3 条の 2（1））
卒業の認定に関する方針（公表方法：大手前短期大学ホームページ） （概要）ライフデザイン総合学科は、豊かな教養に基づく実務教育を通じて社会が求める有為な人材を育成する学科を目指します。その中で、教育課程において厳正な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の知識・能力を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。 <ol style="list-style-type: none">1. 体系的専門知識・技術 自らの関心に応じて選択した専門教育科目群を中心に、知識・技術を学修し、体系的な専門性を修得している。2. 実践的な基礎ビジネス知識・能力 自らキャリア設計を行い、社会で活躍する能力を修得している。 資格取得をはじめとした、基礎ビジネス知識・能力を修得している。3. 社会人としての基礎力 社会人として求められる一般常識・教養を修得している。 社会において良好なコミュニケーションを取ることができ、周りとは協調しながらも主体的に行動する力を修得している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大手前短期大学ホームページ） （概要）ライフデザイン総合学科では、学生一人ひとりの社会人基礎力の修得のために、次の 6 つの能力「C-PLATS®」の開発と育成を目的にカリキュラムを編成します。 ・Communication（コミュニケーション力） 相手を理解し自分の考えをわかりやすく伝える力 ・Presentation（プレゼンテーション力） 自分の考えをまとめて発表する力 ・Language Skill（言語能力） 決められたテーマについて論理的に表現する力 ・Artistic Sense（芸術的センス） 芸術作品、デザインへの理解力と創造活動を通じて行う表現力 ・Teamwork（チームワーク） 集団での自分の役割がわかり協力し合える力 ・Self-Control（自己管理力） 自分の感情を冷静におさめ、行動できる力 各授業において「C-PLATS®」の、どの能力が育成されるかを学生に明示し、その実現に努めます。 また、「フォーラム」・「ゼミナール」を必修科目とし、少人数クラスで学生一人ひとりに丁寧な履修指導と学修指導を行います。そのうえで、「成績評価ガイドライン」に基づいて学修成果を厳正に評価します。 なお、期待する学修成果・学修姿勢に関しては、アクティブ・ラーニングの活用をはじめとした授業方法の工夫によって、レベルの向上に努めます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大手前短期大学ホームページ）

（概要）ライフデザイン総合学科は、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに則り、「豊かな教養に基づく実務教育を通じて社会人基礎力を育む学科」を目指します。本学科が重視する社会人基礎力とは、コミュニケーション力・プレゼンテーション力・言語能力・芸術的センス・チームワーク・自己管理能力です。入学試験においては、高等学校（それと同等の学校を含む。）の学習のほかに、これら社会人基礎力の資質や素養も評価の対象とします。

この方針に基づき、本学科では下の選考方法により、次のような学生を募集します。

- ① 本学の使命・方針をよく理解し、本学で学びたいという強い意欲をもつ人
- ② 高等学校（それと同等の学校を含む。）までの学習で、一定の知識・能力を得た人
- ③ 2のうち、特定の科目において一定の知識・能力をもつ人
- ④ 読む・書く／聞く・話すにおいて、一定の能力をもつ人
- ⑤ 社会人基礎力の資質や素養をもつ人

選考方法	主に評価する能力・資質
科目試験	② ③
調査書等による書類審査	② ⑤
推薦書	① ②
面接・面談	① ④ ⑤
模擬授業参加	② ④ ⑤
小論文等	③ ④

学部等名 歯科衛生学科

教育研究上の目的（公表方法：大手前短期大学ホームページ）

（概要）歯科衛生学科は、歯科衛生士の業務に確実に対応できる専門的知識の修得と併せ、幅広い視野から健康を捉え、口腔ケアのための確かな技術とヒューマン・ケア能力を身につけた歯科衛生の専門家を養成することを目的とする。（大手前短期大学学則 第3条の2（2））

卒業の認定に関する方針（公表方法：大手前短期大学ホームページ）

（概要）本学科のディプロマ・ポリシーは、以下の通りです。

1. 歯科疾患の予防と口腔保健の向上に貢献できる能力をもっている
2. 高齢化社会到来に伴い、求められる歯科・口腔保健のニーズに対応できる能力を持ち、医療・保健・福祉等の医療関連職種と連携し、協力・協働関係が構築できる
3. 歯科衛生に関する知識と高度な技術の習得と、多様な人間関係に必須なコミュニケーション能力をもっている
4. 歯科衛生士としての職業倫理観を保持し、自らの責任で行動できる

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大手前短期大学ホームページ）

（概要）本学科のカリキュラム・ポリシーは、以下の通りです。

1. 専門知識と高度な技術を習得し、歯・口腔の健康を通し社会に貢献できる人材養成が可能な教育課程の編成
2. Communication（相手を理解し自分の考えをわかりやすく伝える力）力やPresentation（自分の考えをまとめて発表する力）力を身につけ、医療現場においての基礎力を涵養する科目群の配置
3. Teamwork（集団での自分の役割がわかり協力し合える力）や Self - Control（自分の感情を冷静におさめ、行動できる力）を身につけ、将来に向け自己管理のもと、チー

ム医療に貢献できる能力や人間性を育む学習方法の導入
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大手前短期大学ホームページ）</p> <p>（概要）本学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに則り、入学試験においては、高等学校等の学習の他に、以下の社会人基礎力の資質や素養も評価の対象とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学科の使命・方針を理解し、併せて医療人としての使命感をもつ人 2. 歯科・口腔保健の専門的知識、高度な技術の習得に必要な基礎的知識、能力を有する人 3. 相手を理解し自分の考えをわかりやすく伝える力（Communication）や自分の感情を冷静におさめ、行動できる力（Self - Control）を有し、チーム医療の推進に取り組む意欲のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：大手前短期大学ホームページにて公表する。</p> <p>https://gakuen.otemae.ac.jp/about/organization.html</p> <p>https://college.otemae.ac.jp/about/disclosure/</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	学長1・副学長1人	—					2人
ライフデザイン総合学科	—	5人	1人	2人	0人	0人	8人
歯科衛生学科	—	4人	1人	5人	3人	1人	14人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			45人				45人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： 大手前短期大学ホームページ→教員組織→研究者業績検索システム https://kg.otemae.ac.jp/gyoseki/japanese/index.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ライフデザイン総合学科	150人	152人	101%	300人	332人	111%	—人	—人
歯科衛生学科	70人	76人	109%	140人	152人	109%	—人	—人
合計	220人	228人	104%	440人	484人	110%	—人	—人
(備考) 歯科衛生学科（3年制）は、2020年4月新設のため1年次・2年次のみが在籍であり、収容定員は2学年分を記載している。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ライフデザイン総合学科	193人 (100%)	44人 (22.8%)	135人 (69.9%)	14人 (7.3%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	193人 (100%)	44人 (22.8%)	135人 (69.9%)	14人 (7.3%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項） 大阪シティ信用金庫、日新信用金庫、中兵庫信用金庫、日本通運(株)、淀川キリスト教病院、宝塚第一病院、(株)阪神阪急百貨店、(株)パナホーム兵庫、(株)エーデルワイス、(株)トヨタレンタリース大阪、他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>カリキュラム・ポリシーに基づき、授業計画書（シラバス）に以下の事項を漏れなく記載するよう教員に依頼している。シラバス管理専門部会（教員・職員協働部会）においてチェックを行い必要があれば修正依頼を行っている。学生には履修登録開始前の3月下旬にWEB公表を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業形態（講義、演習、実技、実習の別及びオムニバス、集中の別） ・授業のねらい（授業の目標など） ・授業時間外学習（時間外学習の内容） ・授業計画（第1回～15回まで各授業回ごとに、授業の主題と内容および予習・復習を踏まえ得られる成果。予習・復習の具体的な内容及びそれに必要な時間） ・授業の到達点・学習成果（授業のなかでどこまでできるようになるか等） ・成績評価の対象となる項目・配分（成績評価の方法・基準） ・教科書・参考書（出版社名、著作者名、発行年度等） ・その他（実務経験のある教員による授業科目についてはその旨） など <p>以上を踏まえ、学生は授業開始前に年間の授業計画を立てており、各クラス担任は担当学生への学習指導対応を行っている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)			
<p>シラバスに明記し学生にあらかじめ示した客観的な「成績評価の対象となる項目・配分」（成績評価の対象となる方法・基準）に基づき、担当教員の主観を排除し、各学生の学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を授与している。</p> <p>なお、本学の成績評価の評語と意味は次のとおりである。</p>			
評語	意味	評語	意味
A	特に優秀な成績	S	合格
B	優れた成績	U	不合格
C	一応その科目の要求を満たす成績	T	単位認定
D	単位が与えられる最低の成績		
F	不合格（放棄を含める）		

「A・B・C・D・S・T」の評価を得たものに所定の単位が与えられる。

また、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に基づき、卒業要件として次のとおり在学年数及び卒業要件単位数等を学生に対して示している。

【ライフデザイン総合学科】

1) 在学年数

卒業するには2年以上本学に在学する必要があります。

ただし、長期履修生については3年以上となります。

なお、休学期間は在学年数に算入されません。

2) 卒業要件単位数等

卒業するためには、次の要件をすべて満たした上で、卒業要件の科目の中から

62単位以上を修得する必要があります。

①共通教育必修科目「ライフデザイン」（1単位）、「コンピュータ演習」（1単位）、「フォーラムA」（1単位）、「フォーラムB」（1単位）の計4単位修得をしていること。

②共通教育選択必修科目より次の要件をすべて満たしていること。

「基礎英語」（1単位）または「日本語表現法」（1単位）のどちらか1単位以上修得していること。

③専門教育必修科目「ゼミナールA」（1単位）および、「ゼミナールB」（1単位）の計2単位修得していること。

④専門教育選択必修科目より次の要件をすべて満たしていること。

ア) 「キャリアデザイン」（2単位）、「キャリアプランニング」（2単位）および「キャリアベーシック」（2単位）より、2単位以上修得していること。

イ) 「Word演習」（2単位）および「Excel演習」（2単位）の4単位、「簿記Ⅰ」（2単位）および「簿記Ⅱ」（2単位）の4単位、「簿記Ⅲ」（2単位）および「簿記Ⅳ」（2単位）の4単位、「販売論」（2単位）および「販売実務」（2単位）の4単位または、「ファイナンシャルプランニングⅠ」（2単位）および「ファイナンシャルプランニングⅡ」（2単位）の4単位、のうちから、1セット4単位以上修得していること。

⑤専門教育科目における4つのコースのいずれか1コースから10単位以上修得していること。

⑥上記の③、④、⑤を含め専門教育科目の中から28単位以上修得していること。

【歯科衛生学科】

1) 在学年数

卒業するには3年以上本学に在学する必要があります。

なお、休学期間は在学年数に算入されません。

2) 卒業要件単位数等

卒業するためには、次の要件をすべて満たした上で、卒業要件の科目の中から106単位以上を修得する必要があります。

①「共通教育科目」の必修科目「フォーラムA」（1単位）、「フォーラムB」（1単位）の計2単位修得をしていること。

②「共通教育科目」の選択必修科目より4単位以上修得していること。

③「専門教育科目」のすべての必修科目より96単位を修得していること。

④「専門教育科目」の選択必修科目より4単位以上修得していること。

上記、卒業の認定に関する基準は、学生に対しては本学の総合学修支援システム（LMS）で、外部に対しては本学WEBサイトで公表をおこなっている。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
ライフデザイン 総合学科		62 単位	有	年間 50 単位
歯科衛生学科		106 単位	有	年間 52 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法： GPAは常にクラス担任がモニターし学生の学習指導に参考としている。また、GPAが著しく低い場合は退学勧告されることがある旨を学生に配布する「履修ガイド」に掲載のうえ、オリエンテーションにて通知している		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：大手前短期大学ホームページにて公表する。 https://college.otemae.ac.jp/about/disclosure/files/2020_tandai_enquete.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： 大手前短期大学ホームページ及び短期大学案内パンフレットにて公表する。 [教育施設] https://college.otemae.ac.jp/about/research/education/ [短期大学案内パンフレット請求方法] https://college.otemae.ac.jp/request/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
ライフデザイン 総合学科		770,000円	200,000円	390,000円	その他：施設設備費 230,000 円、実習費：40,000円、休学 中の在籍料：120,000円
歯科衛生 学科		750,000円	200,000円	560,000円	その他：施設設備費：240,000 円、実習費：200,000円、休学 中の在籍料：120,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 本学では、専任教員(一部、非常勤講師を含む)がクラス担任として学生一人ひとりを担当し学習に関する指導等を行う制度を設けている。クラス担任は、担当する学生の履修登録、授業への出席状況、成績や就職活動などを絶えずモニターし、必要に応じて学生に助言や指導を行っている。 年間を通じた指導では、クラス担任は、担当する学生の学習(出席情報の把握を含む。)を指導し、進路決定や学籍異動(留学・転学科・休学・復学・退学)に関する相談に応じる。 また、毎学期ごとに履修について助言・指導し、学業成績に基づいて学生本人と面談する。保護者会においては、保護者からの相談に応じる体制を整えている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 教職員で構成する就職委員会を組織し、月1回の開催を通して就職支援内容の改善を協議し、具体的施策を実行に移している。また、就職支援システムを活用し緊密な情報共有を図ることで教職協働の就職支援体制が確立している。キャリア教育の授業科目としては、「キャリアデザイン」を開講し、職業観の涵養をはじめ、チームワークや問題解決能力など汎用的能力の養成を図っている。また、「キャリア特講」は、基礎学力の担保のためリメディアル教育を行い、秋学期の「キャリアプランニング」は、自らのキャリアデザインを建設的に構想できることを目指している。くわえて、1年生の夏季休暇期間には、就業体験型のインターンシップの実施に力を注ぎ、職業観の涵養を図り自己理解の一助としている。 正課外の就職支援プログラムも充実させ、業界研究セミナー、勇気づけの面接練習会(アドラー心理学によるもの)、本番の面接練習会、ステップアップ面接練習会、グループディスカッション対策、履歴書添削会、就活実践講座、学内合同企業セミナーは、すべて全員参加とし一人の脱落者もなく就活準備に万全を期している。正課の授業科目と正課外の就職支援プログラムが有機的に連動し、知識やノウハウと具体的な実践力の両面の能力伸長が図れる仕組みが構築されている。 一方で、4年制大学への編入学支援にも力を注ぎ、進学希望者はすべて編入学サポートに登録させ、志望理由書の添削や面接対策を行っている。特に他大学への編入学に関しては、アカデミックブリッジコースを設け、志望大学の試験内容に応じた支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 学生の心身の健康等に係る支援を行うために、本学では、「健康相談室」と「学生相談室」を設置し、相談が必要な学生が利用できるようにしている。 「健康相談室」は、授業期間中の毎週月～金曜日の9:00～17:00に開室、健康相談および救

急処置等に応じている。学生には入学時のガイダンスで資料を配布および掲示等し、少しでも心身の異常、苦痛、不安等を感じたら、一人で悩むことなく気軽に来室する様、促している。

2020年度はコロナウイルス感染症拡大リスク軽減のため、来室前に学生課で検温・健康チェックの実施、マスク着用、手指消毒を徹底し、入室するよう指導していた。また、健康相談室だよりを頻繁に作成し、コロナウイルス感染症拡大防止の対応策や、コロナ禍でのステイホームの過ごし方などをインターネット上の掲示板で案内した。

尚、大学指定医療機関は以下の通り。

笹生(さそう)病院

診療科目

外科・内科・脳神経外科・整形外科・麻酔科・放射線科・理学診療科

西宮市弓場町(ゆばちょう) 5番 37号

「学生相談室(カウンセリングルーム)」も設置しており、学生の生きがいや悩みについての相談窓口になっている。学生には掲示等で告知している。

また、健康管理については、学校保健法第6条に基づき、学生の結核その他の「定期健康診断」を毎年1回実施、必要に応じて各科専門医の紹介も行っている。

2020年度はコロナウイルス感染症の影響でzoomやメールなど非対面面談を実施した。また、学生相談室だよりを半月に1回のペースで発行し、慣れないオンライン授業や巣ごもり生活を過ごす学生に対し、ストレスチェックやリラクスの方法、学外の相談窓口の紹介などインターネット上の学生掲示板にて案内した。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大手前短期大学ホームページにて公表する。

<https://college.otemae.ac.jp/about/disclosure/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F228310109015
学校名	大手前短期大学
設置者名	大手前学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		74人	72人	146人
内 訳	第Ⅰ区分	44人	44人	
	第Ⅱ区分	13人	13人	
	第Ⅲ区分	17人	15人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				146人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	-		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	-		
計	-		
(備考) 歯科衛生学科(3年制)令和2(2020)年度開設			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	-		
GPA等が下位4分の1	-		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	11人		
(備考) 歯科衛生学科(3年制)令和2(2020)年度開設			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。